

第 22 回遠州広域行政推進会議 議事録

- 1 日 時 令和 4 年 8 月 3 日 (水) 13 : 30 ~ 14 : 20
- 2 場 所 湖西市西部地域センター 2 階 講座室
- 3 出席者 浜松市長 (座長)、磐田市長、掛川市長、袋井市長、湖西市長、御前崎市長、菊川市長、牧之原市長、森町長
- 4 概 要 以下のとおり

議題 1 2023 年大河ドラマ「どうする家康」について

資料に基づき、事務局 (浜松市観光・シティプロモーション課) が説明した。
事務局からの説明に基づき意見交換を実施した。

- **【掛川市長】** 掛川市の取組みを 3 点紹介する。1 点目は掛川城の漆喰及び廻縁・勾欄の改修を行っている。掛川城の茶室では将棋の王将戦が行われる可能性も高いため、PR 活動ができると考えている。
2 点目は高天神城跡。VR や AR により、当時の光景の再現する事業に取り組んでいる。
3 点目は、家康の側室西郷局が掛川出身であるため、この関連についても伝えていきたい。
各地域でゆかりの地がある。ドラマ館をはじめ、各地を周遊できるような協力をこの地域全体でやっていきたい。
- **【菊川市長】** どうする家康に関連して、獅子ヶ鼻砦というところがある。景観の改良や登山道整備事業等を菊川市で計画している。菊川市民も知らない場所であるため、PR を行っていきたい。
6 月 25 日に劇団静岡県史がチャンバラなどのイベントを獅子ヶ鼻砦で行った。
複数回このようなイベントを行うことで気運を盛り上げていきたい。
獅子ヶ鼻砦は高天神城を奪回するための 6 砦の一つである。
しっかりと、どうする家康関連の事業と連動していきたい。
- **【袋井市長】** デジタルスタンプラリーに最も注目している。デジタルスタンプラリーの価値を上げ、ゴールを目指し一つでも多く回っていただくため、これを盛り上げる活動に力を入れていただきたい。
浜松市中心に行くということで、できるだけ協力はしていきたい。
ゴールした際の商品の話もあったが、そちらについても精一杯協力していきたい。
- **【磐田市長】** 磐田市は先行して今年 (8 月) からデジタルスタンプラリーを行っている。

市民に家康関連の史跡が認知されていない現状があるため、市民向けとなっている。

庁内でプロジェクトチームを作り、職員が提案を行っている。

また、本多忠勝が活躍した一言坂の戦いについて、市民の方が本を出版しているのので、その案内を配布させていただいた。

来年の大河ドラマは遠州地域にとって大きなチャンスではないか。連携して進めて行きたい。

- 【森町長】ゆかりの地のマップについて、50カ所掲載されているとのことだが、追加は可能か。
- 【事務局】紙のマップでは、裏面の連絡先等の記載に限界がある。デジタル版であれば制限がないため、追加可能。
- 【森町長】市民に知られていない部分についても、これを機会に周知することができるのではないか。森町では山田七郎左衛門という人物が、鋳物師惣大工職という免許を家康から受け、武器の製造を一手に行っていた。これについても周知していきたい。

議題2 「地域企業×スタートアップ」の融合による地域産業の活性化

資料に基づき、事務局（浜松市スタートアップ推進課）が説明した。

事務局からの説明に基づき意見交換を実施した。

- 【浜松市長】静岡銀行や地域の信用金庫の方々にも参加してもらったらどうか。
- 【事務局】一緒につくるという部分で金融機関は重要だと思っている。
- 【浜松市長】金融機関が地域企業を一番理解している。
- 【磐田市長】トライアル発注認定制度について、浜松市では既に2件導入したとのことだが、導入した事業は、浜松市以外も導入できる事業なのか。導入した2件について詳細を教えてください。
- 【事務局】1件目はLineを使用した子宮頸がん防止に係る啓発の促進を行う事業。各市町に共通する課題であるため、相互認定が可能な事業ではないか。
2件目は、バーチャル動物園に係る事業。実証を経たうえで導入していることから、担当課も安心して一者特命にすることができる。
- 【菊川市長】スタートアップの基礎については、TBSの「ユニコーンに乗って」というテレビ番組が分かりやすい。YouTubeでは考察動画もある。スタートアップ企業については、資金調達が難しく、金融機関やクラウドファンディングが重要であるとのことだった。
- 【牧之原市長】牧之原市では、チャレンジビジネスコンテストを行い、スタートアップ企業から提案をしていただいた。先日「TECH BEAT SHIZUOKA」

でも少し話をした。91社（市内6社、県内10社、県外65社、海外10社）から提案があった。行政だけでは知識がないため、「CFスタートアップス」という企業を立ち上げた、出縄さん（牧之原市出身）と連携・委託して行った。優勝賞金は100万円。賞金総額は200万円。委託費は200万円。賞金総額の200万円は委託先企業が市外の企業から調達した。委託先の「CFスタートアップス」は資金調達に優れている。今後書類審査を行い、9月上旬にセミファイナリストを発表するなど進めて行く。オープンピッチ審査会を10月中旬頃に行う。興味があれば情報提供を行う。

- **【浜松市長】** 活発なご意見をいただき感謝する。